

道徳だより

令和5年6月
七塚小学校
校長 稲垣 優子
5年生担当

今回は、5年生の授業の様子についてお伝えします。

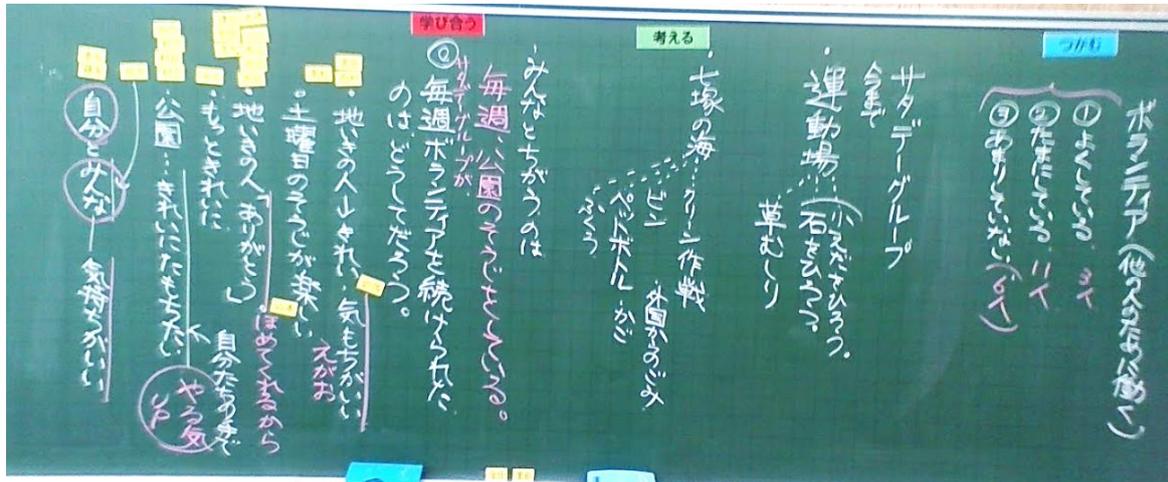
主題名：働く喜び 教材名：「あいさつができた」

《ねらい》

サタデーグループの活動を通して、働くことがみんなの役に立っていることを理解し、誇りをもって社会に貢献しようとする心情を育てる。

《あらすじ》

学校で、全校児童が町別のグループに分かれて、それぞれの地域で清掃活動をする際、わたしのグループは公園の清掃を分担することになりました。広い公園の掃除は大変でしたが、短時間できれいにでき、周りの大人からも感謝されました。でも、しばらくするとすぐに汚す人がいて、公園がまた汚くなってしまったため、6年生の女の子が、「これから1週間に1度、土曜日にボランティアで清掃活動をするグループを作らないか」と提案しました。その提案に賛成し、自分たちで公園をきれいにする活動を続け、その活動に賛成する人たちの輪が広がっていく話です。

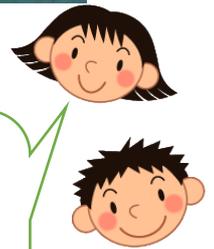


教師の問いかけ

みんなと話し合って、どんなことを考えたかな。



- ・自分にできる、ちょっとしたボランティアをしてみようかなと思いました。
- ・みんなのために、ちょっとごみ拾いをすることはできるかもしれないと思いました。
- ・1回だけいいことをするのではなく、みんなのためにできることを探して、何度もできることを探してみたいです。



児童は、今までの自分たちが経験してきたボランティアと、登場人物の行動とを比べ、自分たちと似ているところと、違うところを探し、自分たちも今までで多くのボランティアを行ってきたことに気付いていました。すぐに教科書に出てくる「サタデーグループ」のような活動を毎週続けることはできないかもしれないけれど、自分たちでも毎日行うことができるボランティア活動はないかについても話し合うことができました。お互いが、よい行動を励まし合い、ボランティアの輪を広げていけばいいと思います。